学校番号	３２８

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	PERSPECTIVE Ⅰ(第一学習社)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりして情報をインプットし、さらに話したり書いたりすることでアウトプットしていくという言語活動を中心に進めていきます。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションの中での使い方を考えながら学習することが大切です。常に「英語を使う」ことを意識しましょう。語学は一朝一夕では身につかず、習得には反復練習が必要です。毎日コツコツと努力を積み重ねていくことが上達の秘訣です。そのためにも、英和辞典（電子辞書でも可）を必ず用意して下さい。

・音読は外国語学習においてとても大切な練習の１つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、相手にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語演習Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、意見の交換をすることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意して話すことができる。	コミュ英Ⅰ 音読テスト 暗唱テスト スピーチ オーラル授業	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	コミュ英Ⅰ ライティング課題 定期考査 英語演習Ⅰ ライティング課題 定期考査	・ゆっくりはっきりと話されれば事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅰ リスニング課題 オーラル授業 定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・節女や物語などを聞き手に伝わるように音読や暗唱ができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意して読むことができる。	コミュ英Ⅰ 音読テスト 暗唱テスト 定期考査 英語演習Ⅰ リーディング課題 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (8時間)	Flowers Across the Ocean	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容についての Q&A をペアで行う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ALT の T-T 授業で簡単な応答ができる。	・英語でのあいさつ、簡単な会話を行う。	・応答の内容、コミュニケーションを図ろうとする態度。	・ALT との対話を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・全米桜祭りのいきさつを理解させる。 ・日米、および日本と世界の国々との関係を自ら考えさせる。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・全米桜祭りが開催されるようになったいきさつを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・基本時制 ・助動詞 ・不定詞の名詞用法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・基本時制 ・助動詞 ・不定詞の名詞用法の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 (8時間)	We Can All Make a Difference	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容についての Q&A をペアで行う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・音読をする。 ・短い英文を暗唱する。	・意味を理解した後で、音読練習を行い、暗唱する。	・意味のまとまりで区切りながら正しく発音できているか。	・音読テスト ・暗唱テスト
		「外国語理解の能力」			
		・Ryan’s Well Foundation ができたきっかけと現在の活動について理解させる。	・教科書に示された設問にある程度正確に答える。	・Ryan's Well Foundation について要点をまとめつつ、説明できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVO（疑問詞節） ・現在完了 ・不定詞の形・副用法 ・動名詞	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・SVO（疑問詞節） ・現在完了 ・不定詞の形・副用法 ・動名詞 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (8時間)	Washoku-Traditional Japanese Cuisine	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・和食という文化の保存と警鐘について考える。	・ワークシートを利用して、和食についての対話をペア・ワークで行う。	・和食の説明 ・和食について自分の考えを発表できるか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・和食についてプレゼンテーションを行う。	・各セクションの内容のワークシートを利用して要約する。	・グループでの発表を行う。	・グループでの発表の様子を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・無形文化遺産に登録された和食の特徴について読み取る。	・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・海外における和食の説明文を読んで、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了進行形 ・分詞の形容詞用法 ・関係代名詞 主格・所有格・目的格 ・関係代名詞 what	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了進行形 ・分詞の形容詞用法 ・関係代名詞 主格・所有格・目的格 ・関係代名詞 what の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 (8時間)	A Piece of Cloth	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・三宅一生氏の創作するファッションについての興味付けを行い、またそれが世界に与えている影響について自ら考えさせる。	・ワークシートを利用しクイズを作り、グループで行う。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、積極的に発表したり答えたりしようとしている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・比較的長い英文を暗唱する。	・意味を理解した後で、音読練習を行い暗唱する。	・意味のまとまりで区切りながら正しく読めているか。	・音読テスト ・暗唱テスト
		「外国語理解の能力」			
		・三宅一生氏の来歴や、自らの戦争体験を打ち明けるに至ったきっかけを読み取らせる。	・教科書の中の挿絵や写真などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・三宅一生氏について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SV(be)C(=that 節) ・SVOO ・過去完了 ・助動詞を伴う受動態	・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・SV(be)C(=that 節) ・SVOO ・過去完了 ・助動詞を伴う受動態 の文型、用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (8時間)	Malala Continues to Speak Out	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き手に伝わるように、演説の一部を暗唱する。	・感情をこめて音読する。	・聞き手に伝わるように、演説の一部を暗唱する。	・生徒同士の評価シートを提出させる。
		「外国語表現の能力」			
		・マララさんに宛てて、スピーチの感想を盛り込んだ手紙を書く。	・ワークシートを利用し、マララさんへ手紙を書く。	・マララさんに宛てて、スピーチの感想を盛り込んだ手紙を書くことができるか。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララ・ユスフザイ氏の生い立ち、活動、国連での演説に至るまでのいきさつを読み取らせる。	・つながりを示す語やフレーズをもとに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了形 ・It is ～ that … ・知覚動詞　使役動詞 ・関係副詞	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・完了形 ・It is ～ that … ・知覚動詞　使役動詞 ・関係副詞 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 (8時間)	The Stonehenge-the Facts and Mysteries	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容についての Q&A をペアで行う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・ストーンヘンジについての英文を読んで、要約文を作成する。	・各セクションの内容のワークシートを利用して要約する。	・ストーンヘンジについての英文を読んで、要約文を作成することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ストーンヘンジとは何か、どのような役割を担っていたと考えられるか読み取らせる。	・教科書に示されている設問にある程度正確に答える。	・ストーンヘンジについての要約文を作成することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVO(to 不定詞) ・分詞構文 ・関係詞の非制限用法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・SVO(to 不定詞) ・分詞構文 ・関係詞の非制限用法 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (8時間)	One Team One Country	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容についての Q&A をペアで行う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・リズムやイントネーションに注意して音読する。	・各セクションの内容のワークシートを利用して要約する。	・音読した内容を生徒に聞き取らせる。 ・聞き手に伝わるよう音読できているか。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・南アフリカ共和国にとって、1995 年ラグビーワールドカップがどのような意味を持ったかを読み取らせる。	・教科書に示されている設問にある程度正確に答える。	・ラグビーワールドカップについての内容を聞き取る。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・It is for A to do ・SV it C to(that) ・仮定法過去	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・It is for A to do ・SV it C to(that) ・仮定法過去 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 (8時間)	To Protect or To Develop	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容についての Q&A をペアで行う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・リズムやイントネーションに注意して音読する。	・各セクションの内容のワークシートを利用して要約する。	・音読した内容を生徒に聞き取らせる。 ・聞き手に伝わるよう音読できているか。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・増え続ける世界遺産の現状と、登録抹消の事例・背景を読み取らせる。	・グラフや表などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・世界遺産についてその内容を聞き取る。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・It seems that … ・仮定法過去完了 ・It is ～ that …の強調構文	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・It seems that … ・仮定法過去完了 ・It is ～ that …の強調構文 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (8時間)	Life in a Jar	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・個人の意見や感想をある程度の分量で表現する。	・模擬質問に対する答えを作る。	・個人の意見や感想をある程度の分量で表現できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・イレーナ・センドラーの戦中の活躍や、アメリカの学生らによるイレーナに関する探究活動を読み取らせる。	・セクションごとに本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。 ・ペアで確認する。	・イレーナ・センドラーの戦中の活躍や、アメリカの学生らによるイレーナに関する探究活動を読み取らせる。	・ワークシートを提出させ、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVC(=分詞) ・SV(=知覚動詞)OC(=分詞) ・助動詞+have+過去分詞	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・SVC(=分詞) ・SV(=知覚動詞)OC(=分詞) ・助動詞+have+過去分詞 の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。